

ステータス:	新規	開始日:	2010/05/12
優先度:	通常	期日:	
担当者:	kurihara	進捗率:	0%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			

説明

インストールに関する内容

(3)ソースからビルドする際に、必要パッケージの情報は、動作条件の欄に概要があり、「参考」としてのリンクになってますが、ある程度明記した記述の方が良いようにも思えますがいかがでしょうか？

(以外と読み飛ばしてしまうことがあったので。)

また、リンクに従い、必要パッケージインストールすると、aptitudeで入れる場合、そのまま

```
「sudo aptitude openRTM-aist-python openRTM-aist-python-example」
```

も実行してしまい、その後にソース版のビルドをしてしまい、重複してしまうことがあります。(あまり考えずにWeb記載情報をコピーして実行することが多いので。)

ということもあり、(2),(3)に関連し、個人的な意見としては、必要パッケージのインストール手順は共通のようなので、節として上部に分けてしまい、必ずユーザが目を通すようにし、次の節で「パッケージ版インストール手順の場合」「ソース版インストール手順の場合」で場合分けにしてはどうでしょうか？

「環境変数の設定」も、今の記述では「ソースからのインストール」の記述の最後に出てきていますが、「パッケージ版インストール」の箇所には無いようでした、こちらも見失いそうに思えました。「両方の最後」or「節として別出し」にしてはどうでしょうか。

ついでに、そもそも「パッケージ版インストール」という項目はなく、「必要パッケージのインストール」で一緒に「OpenRTM-Python」も入っているような記述になっているようでした、この辺りも混乱を招く可能性があるかとも思っています。

Ubuntuにおける注意点

Ubuntu10.04でNameServiceのlocalhostにアクセス出来ない件、「ML-863」にある内容が10.04も同様のようで、この作業をすることで正常に動作しました。気づかずに相当ハマりました・・・。

ざっとみるとWebマニュアルに注意書きは無いように思えたので、MLだけでなく、こちらにも記述を希望します。

サンプルコンポーネントの説明

ついでに、サンプルのAutoControlやCompositeやら、いくつか、Webのサンプル一覧の説明には出て来ていないものもあるようでしたので、追記漏れのようなでしたらお願いいたします。